

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品の名称	US-コントロール‘栄研’Level I / II System
製品コード	E-UZ81
会社名	栄研化学株式会社
本社住所	〒110-8408 東京都台東区台東4-19-9
担当部門住所	〒329-0114 栃木県下都賀郡野木町野木143番地
担当部門名	信頼性保証統括部
担当部門電話番号	0280-56-2822
緊急連絡電話番号	0280-56-2822
FAX番号	0280-56-2422

推奨用途及び使用上の制限 ウロペーパーⅢ‘栄研’及びウロペーパーαⅢ‘栄研’の精度管理用

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性	生殖毒性 区分1B 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。
-------	-------------------------------------------

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
安全対策	使用前に取扱説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
廃棄	保護手袋を着用すること。 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

組成・成分 混合物
液状マトリックス溶液、ヒト赤血球、動物由来成分、化学物質

化学名／一般名	アジ化ナトリウム
濃度又は濃度範囲	0.1w/v%未満
化学特性(示性式又は構造式)	NaN ₃
CAS番号	26628-22-8

化学名／一般名	四ホウ酸ナトリウム
濃度又は濃度範囲	0.1～1.0w/v%未満

化学特性（示性式又は構造式）	Na ₂ B ₄ O ₇
CAS番号	1330-43-4
官報公示整理番号（安衛法）	政令番号：544
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	データなし

4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移し、安静にする。症状があるときは、医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合	多量の水で十分に洗う。炎症を生じた時は医師の手当を受ける。
眼に入った場合	直ちに多量の水で15分以上洗い流す。異常があれば医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合	水を飲ませ、吐かせる。必要があれば医師の手当てを受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

吸入	知見なし
皮膚	知見なし
眼	知見なし
経口摂取	知見なし
最も重要な兆候及び症状	知見なし
応急措置をする者の保護	適切な保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項	特になし

5. 火災時の措置

消火剤	水、粉末、炭酸ガス、泡
使ってはならない消火剤	該当なし
特有の危険有害性	火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム（またはガス）を放出する可能性がある。
特有の消火方法	火元の燃焼源を絶ち、水や粉末、炭酸ガス等の消火剤を用いる。燃焼時に発生するガスや煙等を吸引しないように、消火作業は風上から呼吸保護具を着用して行う。
消火を行う者の保護	ヘルメット、保護めがね、防塵・防毒マスク

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	作業の際には、必要に応じて保護具を着用する。
環境に対する注意事項	漏出物を河川等に直接流してはいけない。大量の水で希釈する場合には、排水が適切に処理されずに環境へ流出することがないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	
回収・中和	飛散したものは80 %エタノール等で拭き取りと消毒を行う。
封じ込め及び浄化方法・機材	データなし
二次災害防止策	データなし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策 局所排気・全体換気 安全取扱い注意事項	特になし 排気用の換気があるとよい。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、また引きずるなどの粗暴な扱いをしない。
	接触回避	吸い込んだり、目、皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
保管	衛生対策	データなし
	安全な保管条件	データなし
	技術的対策	特になし
	保管条件 安全な容器包装材料	2～10℃で保管する。 ポリプロピレン

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度		設定なし
許容濃度	(ばく露限界値、生物学的ばく露指標) 日本産衛学会(2014年度版) ACGIH(2014年版)	設定なし 設定なし 設定なし
設備対策		取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。
保護具	呼吸用保護具	防護マスク、空気呼吸器
	手の保護具	保護手袋
	眼の保護具	保護眼鏡、側板付き保護眼鏡
	皮膚及び身体の保護具	保護衣、保護長靴
衛生対策		使用原料はHIV抗体、HBs抗原およびHCV抗体の検査を行い、陰性のものを使用しておりますが、使用の際は患者血清と同様に感染の危険性があるものとして取り扱いには十分に注意する。 取扱い後はよく手を洗う事。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	形状	液体
	色	淡黄色
	臭い	特になし
	臭いのしきい(閾)値	データなし
	pH	レベル1:5.5± レベル2:7.4±
融点・凝固点		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)		データなし
燃焼性(固体、気体)		データなし
燃焼又は爆発範囲		データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度		データなし
比重(相対密度)		データなし
溶解度		データなし
n-オクタノール／水分係数		データなし
自然発火温度		データなし
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		データなし

粉じん爆発下限濃度	データなし
最小発火エネルギー	データなし
体積抵抗率(導電率)	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	安定
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	日光、熱
混触危険物質	特になし
危険有害な分解生成物	データなし

11. 有害性情報

急性毒性	経口	データなし
	経皮	データなし
	吸入:ガス	データなし
	吸入:蒸気	データなし
	吸入:粉じん及びミスト	データなし
皮膚腐食性及び刺激性		データなし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		データなし
呼吸器感作性		データなし
皮膚感作性		データなし
生殖細胞変異原性		データなし
発がん性		データなし
生殖毒性		混合物の成分の生殖毒性－区分1Bの濃度が1%未満のため生殖毒性－区分1Bとした。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		データなし
吸引性呼吸器有害性		データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	水生環境有害性(急性)	データなし
	水生環境有害性(長期間)	データなし
オゾン層への有害性		データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。 上記方法による処理ができない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装	製品の空容器は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

該当の有無は製品によっても異なる場合がある。法規に則った試験の情報と、分類実施中の12項の環境影響情報とに、基づく修正の必要がある。

国際規制

国連番号	非該当
国連品名	非該当
国連危険有害性クラス	非該当
副次危険	非該当

	容器等級	非該当
	海洋汚染物質	非該当
	MARPOL73/78附属書Ⅱ及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
国内規制	海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
	航空規制情報	航空法の規定に従う。
	陸上規制情報	道路法の規定に従う。
特別安全対策		運搬に際しては容器に漏れの無い事を確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に 行う。
緊急時応急措置指針番号		非該当

15. 適用法令

法規制情報は作成年月日時点に基づいて記載されております。事業場において記載するに当たっては、最新情報を確認してください。

労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号・別表第9) ほう酸ナトリウム 政令番号:544 0.1%以上のため該当
化審法	非該当
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	非該当
消防法	非該当
大気汚染防止法	有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質(中央環境審議会第9次答申)(ほう素化合物)
水道法	有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号)(ホウ素及びその化合物)
下水道法	水質基準物質(法第12条の2第2項、施行令第9条の4)(ほう素及びその化合物)
水質汚濁防止法	有害物質(法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条)(ほう素及びその化合物)
土壌汚染対策法	特定有害物質(法第2条第1項、施行令第1条)(ほう素及びその化合物)
海洋汚染防止法	非該当
航空法	非該当
船舶安全法	非該当
港則法	非該当
道路法	非該当

16. その他の情報

参考文献 各データ毎に記載した。

SDSは、品質保証書、規格書ではありません。

記載内容は必ずしも十分ではないので注意して取り扱って下さい。

また、注意事項は通常の取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いをする場合には、用途・用法に応じた安全対策を施して下さい。